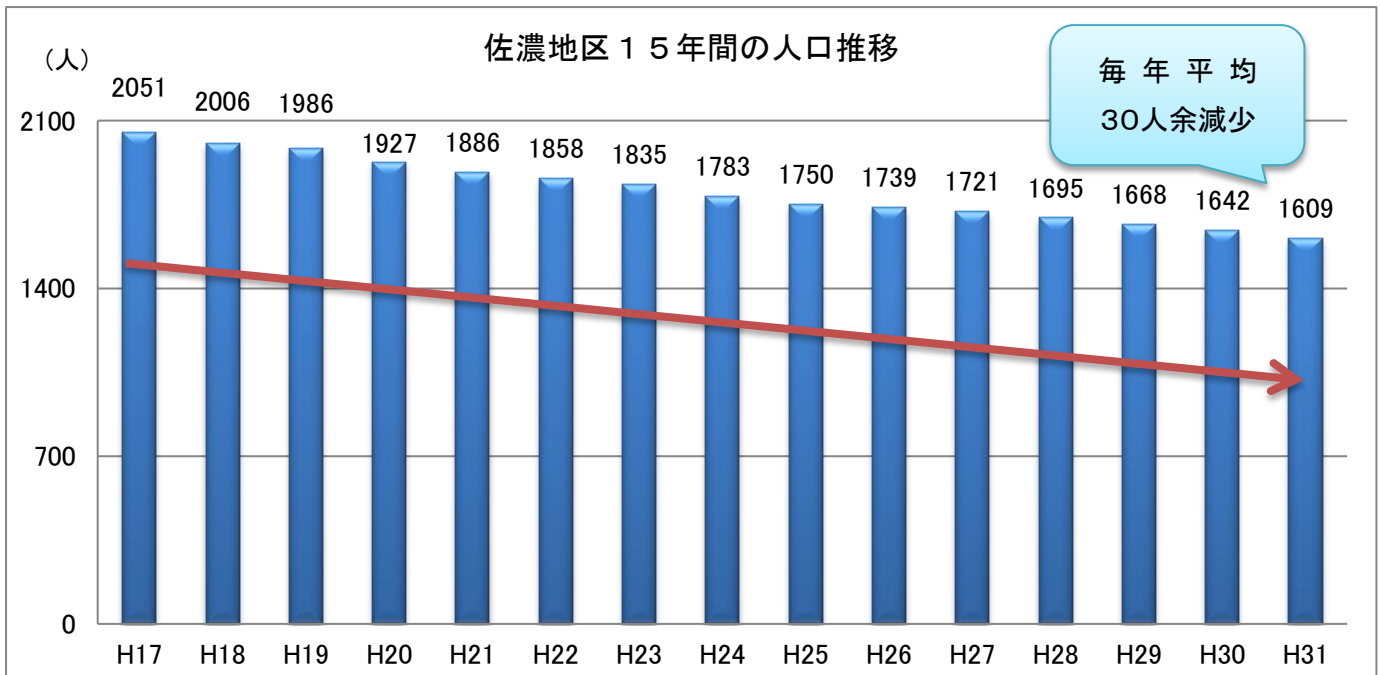


佐濃自治会だより

2019年7月27日(土)
連合区 佐濃自治会発行
【第67号】



14年間で442人減少

7月の区長会議終了後、2回目の区長研修を行いました。1回目は5月の区長会議後です。



佐濃の子育て支援事業:おしゃべりサロンカンガルー

7月の区長会議終了後、2回目の区長研修を行いました。1回目は5月の区長会議後です。

区長研修の目的は、集落の課題に目を向け、課題解決への取組意識を高めていくためです。

● 将来を視野に入れた集落運営

大部分の区長が市などからの報告・連絡・依頼事項の処理と区行事を中心に集落運営を行っています。

しかし、少子高齢化、過疎化、空き家対策など集落の課題にどのように対応していくかが、今後集落運営の重要な柱になってきます。そこで、区長研修ではまず、

集落運営の基本となる各集落 15年間の人口動向を把握してもらうところから始めました。

1~2年ではあまり人口の変化は感じません。だが、5年10年15年と経過するとその様相は大きく変化します。

例えば、6年前に空き家がゼロだった集落で2年前から空き家が複数出てきたことが報告されています。

毎年3月末の住民台帳によると、佐濃地区15年間の人口推移は上のグラフが示すとおりです。このグラフを見ると、今から14年前には2000人を超えていた人口が今年3月末には1600人余と、毎年右肩下がりで減少しています。大部分の集落で人口が減少しています。中でも人口減少が大きかった集落は①永留②野中③尉ヶ畑④佐野甲となっていることもわかってきました。

<過去14年間人口減少が大きい集落>

| 集落名 | H17 | H31 | 減少数 |
|-----|-----|-----|------|
| 尉ヶ畑 | 192 | 145 | -47人 |
| 佐野甲 | 252 | 206 | -46人 |
| 野中 | 159 | 101 | -58人 |
| 永留 | 326 | 260 | -66人 |

ところが、14年間で人口があまり減らず、現状維持に近い集落があることもわかってきました。この違いは？

人口減少ひと桁の集落から見えてくること

＜過去14年間人口減少一桁台の集落＞

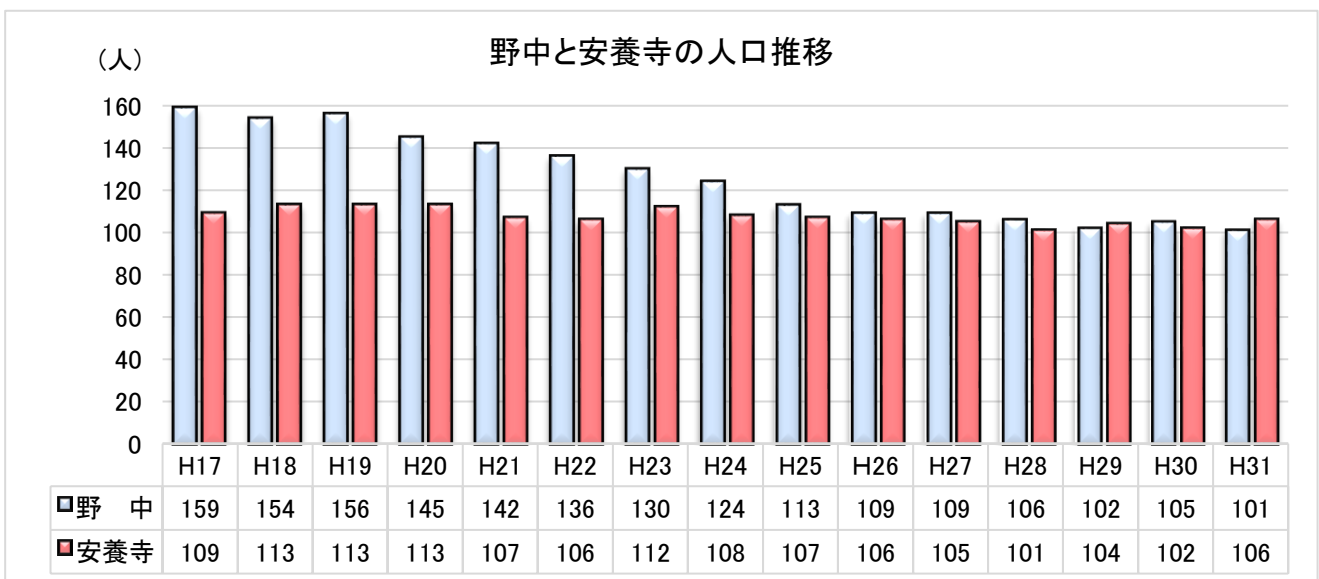
| 集落名 | H17 | H31 | 減少数 |
|-----|-----|-----|------|
| 安養寺 | 109 | 106 | -3人 |
| 坂谷 | 18 | 16 | -2人 |
| 女布 | 95 | 90 | -5人 |
| 郷 | 97 | 84 | -13人 |

● 安養寺・坂谷・女布

平成17年3月末から平成31年3月末の14年間で多くの集落が二桁の人口減少となっています。それに対して左記の3集落の人口減少は一桁台です。

坂谷は小集落ながらほぼ現状維持です。また、郷については近年移住者もあり、人口減少が緩やかになっていることも見えてきています。

安養寺と野中は隣接している集落です。二つの集落の人口変化をグラフにしてみると、人口で逆転現象が起きていることが見えてきました。14年前は野中159人に対して安養寺109人でした。現在は野中101人に対して安養寺106人となっています。



● 15年間現状維持の女布

15年間の女布と竹藤の人口をグラフで比較してみると、この間、女布が現状を維持していることが見えてきます。平成19年の女布の人口は89人、同年竹藤は83人とその差は5人でした。ところが、現在は女布90人に対して竹藤58人とその差32人と大きく開いています。

次号では、安養寺や女布はこの15年間なぜ緩やかな人口減少だったのかを考察していきます。

